

私は之を一の美術的の者に仕上げて見たい
野心を生じて、常に眼の平癒を祈つて居る。
寄語す、會員諸君及讀者諸君、若し諸君が
斯かるハメに成られた時には、大膽に御揮
毫なされては如何、諸君の御技術では必成
功します、万一失敗しても、カラ馬に怪我
なして、ソコハ素人へ逃げ道があります。

會 告

▲其後の入會者左の如し

茨城縣結城郡水海道町

贊 五木田總右衛門

茨城縣新治郡石岡町

贊 高松康之助

京都市上京夷川通河原町西入指物町

贊 森田平次郎

東京府下板橋町

贊 小泉鐵太郎

▲前號西村亮三氏とあるは西松の誤

▲前號武藤、川島、岡本、石田の四氏は贊

助會員にして、西松氏は未定に候

▲賛助會員並木富太郎氏は群馬縣富岡中學

校内に轉せられ候



□大阪に於ける本會第二回夏期講習會は別
項記載の通り無事終了致候

□講話の概要は次號の紙上より登載の筈に
御座候

□會期中は例によつて珍談奇聞小ならず
夫等は會員諸君の投書を待つて次號より續
々掲載可致候

□澁温泉に於ても頗る神秘的な面白い材料
澤山有之候様子につきこれ又精探の上諸君
に御披露可致候

□本號の口繪は、石川氏が曾て滿洲に滞在
せられし時寫生せしものにて、原畫は入つ
切程の大きに御座候

□石版は、大橋氏が大阪講習中、住吉に於
てスケツチせられしものに候

□本月は久々にて繪葉書競技會の催有之候
課題は露(意匠)夕陽(技術)にして、九月二
十日迄に本會へ宛て御送付有之度候、但出
品の數に制限は無之候、會費返送料一人に
つき金五錢御送付ありたく、これは開き封

の中へ入るゝこと嚴禁に御座候

□暑中見舞狀を寄せられし各地の讀者諸君
に厚く御禮申上候、幹部一同最も愉快に、
尤も有益に此夏を過し候間御喜び下され度
候

評

◎雲表 小島鳥水著

京橋區木挽町 左久良書房

四六半截形クローズ表装 八十錢

山嶽といへば鳥水氏を聯想させる程、山嶽
趣味の深き小島氏の文集で、「影富士を觀る
の記」「相模野」「冬の淺間山」「日本アルプス
の南半」「中房温泉の記」「燕岳及大天井岳に
登るの記」「奥常念岳の絶巔に立つ記」「梓川
の上流」等を含む、行文の妙は今更言ふを
要せず、自然の研究に於ても他より一頭地
を抽いてゐる、「日本アルプス連嶺を觀ずの
記」をよむに、其中著者の自然觀がある、酒
々十數頁甚だ有益な文字である、敢て「み
づる」讀者の一讀をすゝむ

◎名花百種 第一輯、第二輯各四枚二十錢